

(仮称) 草津栗東火葬場整備基本計画に対する
共有認識事項および質問回答

対話の対象となった事項			組合の回答
No	資料名・該当頁	タイトル等	
1	基本計画・P13	火葬スケジュールと待合室数 および告別・収骨室数の検討	簡易葬儀は、1室に対して火葬炉1基設置タイプの告別・収骨室を時間貸しするなどし、通常の告別想定時間（15分）よりも長い時間を設けることを想定しております。火葬炉数と告別収骨室数を勘案し、火葬スケジュールを含めた提案を求めたいと考えています。 なお、すべての告別収骨室が簡易葬儀に対応する必要はありません。
2	基本計画・P26	主燃料の選定	基本的には都市ガスを想定していますが、トータルコストが都市ガスと同等以下となることを前提にLPG等他の提案も受け付ける方向で検討しています。
3	基本計画・P27	自家発電設備 非常用発電機の備蓄燃料	45件（1日あたり15件で3日間）の火葬と3日間の施設運営に対応できる燃料の備蓄を想定しています。
4	基本計画・P32	火葬場整備事業における業務範囲 公金収納代行業務	受付で利用者から火葬場使用料を収受し、組合が指定する金融機関へ入金頂くことを想定しています。
5	基本計画・P34	民間事業者ヒアリング 光熱水費（燃料費）のリスク分担	現時点では、組合側の負担と考えています。